

## CONTENTS

- 「DUTCH LILY DAYS 2014」 観察レポート その1
- 「DUTCH LILY DAYS CHINA」 観察レポート
- 第2回リリーアベニュー開催！ 6月16日から一週間 世田谷市場で
- リリーエンジェル2014 活動報告 4月から5月
- 山喜農園 農場公開／フラワートライアル もうすぐ始まります
- 7月4日（金） 「なにわ花まつり」に出展します
- 「アムステルダム オープンガーデン・デー」 6月20日の週末3日間開催

## ■ 「DUTCH LILY DAYS 2014」 観察レポート その1

2014年5月20日～23日の4日間、オランダ国内16社のユリ育種会社と、ユリ球根輸出会社による「ダッヂ・リリー・デイズ 2014」が開かれました。今年で4回目を迎える展示公開は、オランダ国内の輸出業者、球根生産者、また海外の輸入業者はもとより台湾などからの生産者団体も訪れており、一度の出張で多くの試験圃場を見る事ができる絶好のチャンスとして好評で、訪問した各社ともに多くの来場者で賑わっていました。

昨年は低温の春の影響で肌寒く、摘花を待つチューリップ畠が見られたようですが、今年は、摘花の終わったチューリップ畠にトラクターが灌水をする様子や、ギガンジューム畠が紫色の帯を見せてくれました。また日中は夏を思わせるほどの陽気で額に汗するシーンも多くありました。



さて、今回訪ねた育種会社のテストハウスでは、品種登録されたユリはもちろん、品種登録前のナンバー品種が何種類もありました。

同じ系統のナンバー品種でも草

丈、フォーメーション、生育スピードなどを比較しながら個体の素性を見極め、どのようにその個体を生かして残して行くか、切り捨てて行くかを判断すると言います。そこから選別された品種は、りん片養成を繰り返し、6年ほどの月日をかけて販売球の収穫まで行います。私たちが新品種のユリに出会うまでの長い旅です。

OT系の育種は球根生産者にとっても、切り花生産者にとっても、メリットの大きいものです。まだまだ新しいものが生まれる発展途上のですが（使う花屋さんの立場によってさまざまな意見があるようです）、OH系にはない魅力が付加され、品種のバリエーションが増し、生産リスクの少ない品種がつくられるようになっていくと思われます。



新品種を選別する条件として、開花しなければ分からない花色が蕾の段階で分かるような品種がひとつの対象になると聞きました。一方で、色の付いた蕾にはデリケートなものがあり、流通段階での擦れが開花してからの花弁の傷みになるのではという意見も聞かれました。

輸出会社のテストハウスでは、各社が取り扱う品種の球根生産者別の試験栽培が行われ、品質チェックが輸出会社、輸入会社の両面から行われていました。

また、同一品種をボックス栽培と、多くの国で行われている土耕栽培をテストして、その特性の違いを見るようにしてありました。輸入会社は作型・作期・生産地域を考慮して品種のチェックを行っていました。

OT 系が大きく咲き誇っている中、同時に植え付けた OH 系がまだ固い蕾だったりするようすを見ると生育スピードの違いがハッキリとわかります。(左図)

DUTCH LILY DAYS の 3 日間 10 社を訪ねて感じたことは、オランダで今なお育種されているユリの多くが、日本やアジアの原種の血を受け継ぎ、カタチを変えて世界に日本に届けられている不思議な縁です。たった一本のユリですが、どれだけ多くの交配を重ねて生まれてきたか、どれだけ多くの人の手を経てやって来たかを考えると、ユリの魅力をしっかりと伝えていかなければいけないと改めて思いました。



## ■ 「DUTCH LILY DAYS CHINA」 レポート



2014年5月28日29日の2日間、福建省南平市延平区で、球根輸入会社 Sinoflor による第3回 DUTCH LILY DAYS CHINA が開かれました。会場中央に作られたランウェイを中心に、オランダから協賛された100種2000本のユリの品種展示と共に、フラワーデザイナーの Len Alkemade 氏（オランダ）、周宇凱氏（台湾）、李婉華氏（香港）による、ユリを使ったブライダルブーケショーとデモンストレーションが華やかに行われました。

またテストハウスでは、全国から集まったフローリストによるコンペティション（ブライダルブーケ、花束、フラワーアレンジメント）や、ボックス栽培展示、カー・デコレーションなど、中国では普段見ることの出来ないユリが数多く展示されました。



花屋2店舗を経営し、2度の来日経験もある上海の Liang さんと、福州の花屋さん5人に花事情を聞いてみました。

質問：お店で扱う花の中でユリの花は何%ぐらい使いますか？また、どんな色の花が好まれますか？

答え：ユリの扱い量は全体の花の 60~70%で葬儀、結婚式です。結婚するカップルが未永くいっしょ

にと「百合」に意味があります。最近はあまり多くユリは使わず、バラが一番人気です。次にトルコキキョウ、アジサイと続きます。

人気の花色は赤、黄、白が伝統的な色として好まれますが、最近は、若い人を中心にソフトピンクが好まれるようになってきました。北部はライトカラー、南部はソフトカラーが人気です。

10年前、ユリは高い花でしたが、今は一般的なお花になってきました。ピンク、白、黄以外の色はないので、今回の品種展示を見てびっくりしています。

質問：例えば3輪のユリと5輪のユリの仕入値段と売価を教えて下さい。

答え：3輪は仕入れが約37円～196円(2.3～6元)で売価が約192円～240円(12～15元)。5輪は仕入れが64円～128円(4～8元)で売価が約288円(18元)です。(＊バラの仕入れが約24円～45円(1.5～2.8元)で売価が約96円～160円(6～10元)、ペットボトルの水が約32円～64円(2～4元)、北京の一般的なサラリーが約80,000円～128,000円(5,000～8,000元) \*1元=16円



中国の花屋さんと接して強く感じたのは、とても勉強熱心だということです。数十年前の日本を見ているようでしたが、何でもどん欲に吸収しようとするあの姿勢は、今の日本に少し足りない所かなと思いました。

## ■ 第2回リリーアベニュー開催！ 6月16日から一週間 世田谷市場で



世田谷市場がユリの香りに包まれる！6月16日(月)から20日(金)の一週間。第2回「リリーアベニュー in 世田谷市場」が開催されます。「リリーアベニュー」は、市場に来る買參人、お花屋さん、デザイナーさんたちを対象に新品種のユリを含めてその魅力と多様な楽しみ方を提案するイベントです。今回のテーマは「ユリは女性に捧げる花～その想い、

ユリが伝えます～」。リリープロモーションは、女性に「ありがとう」や「だいすき」を伝える機会を増やし、すべての女性を応援することに繋げていきたいと思っています。期間中、日替わりで3名のデザイナーによるデモンストレーションとリリーエンジェルのユリPRを行います。高知、新潟、試験農場からのユリの展示のほか、仲卸杯争奪アレンジメントコンペティションや特別講演会も企画しています。

仲卸の店頭ではユリのフェアも同時開催いたします。

ユリのさまざまな使い方やトレンドをお見せするデモンストレーションは、まず、初日16日(月)に、ANIMUS FLORAL DESIGN 宮永英之さんにお願いしました。宮永さんは、ウエディング、レッスン、イベントなどで活躍中の気鋭



岡 寛之 氏



宮永 英之 氏

平井 ペダル カトリーン氏

のデザイナー。朝6時頃から 仲卸フローレ21とプランツパートナーさんの間でご覧いただけます。

中日18日(水)は 平井ペダル カトリーンさんです。ユー企画とフローラルコレクションの間で素

敵なユリのアレンジメントをお見せします。

最終日20日のデモンスト레이ターは、グラフィカルで独創的な作品が魅力の 岡寛之さん。場所は千政とQ-cafsの間です。どんな作品を見せてくれるのでしょうか、とても楽しみです。

リリーエンジェル3名は、16日に 渡辺美香さん（魚沼市出身）、18日、木屋路望さん（石狩郡当別町）、20日が 根岸愛里さん（深谷市）です。よろしくお願いします！（画像左から渡辺さん、木屋路さん、根岸さん）



### ● リリーアベニュー最終日に 特別講習会 を開催いたします（入場無料）

講演テーマ 『YOUR LILY』

日時 6月20日（金）14:00～16:00（予定）

場所 南棟7階 世田谷花き 会議室

講演者 森山隆 氏（株式会社山喜農園 代表取締役社長）

ハンス・ダーメン 氏（Van Zanten Flowerbulbs BV コマーシャルマネージャー

詳細はこちらをご覧ください。 <http://www.lily-promotion.jp/news/news140620.html>

## ■ リリーエンジェル2014 活動報告 4月から5月

### ● 5月17日名古屋にて「松原市場 花まつり」に参加しました

愛知県田原市出身リリーエンジェル大澤亜由美さんとアイバルブ・ジャパン代表 金藤公夫は5月17日、「第6回 松原花市場 花まつり」（主催：愛知県花き市場組合）に参加しました。ユリのミニデモを行いながらユリの大消費地、名古屋の皆様へユリのPR、またユリに対する思いを伺いました。

\* 「リリーエンジェル」のFacebookページ

<https://www.facebook.com/lily.angel.jp>

リリーエンジェルのFacebookページでは、メンバーが今

ようすを書き込んでくれています。右側の「ユーザーからの投稿」欄も見逃さずにご覧ください！



### ● 「リリーエンジェル2015」始動しました！

来年はどの産地からどんなエンジェルが登場するのかご期待ください！！

\* リリーエンジェル・プロジェクト 詳しい情報はウェブで <http://www.lily-promotion.jp/program/>

\* リリーエンジェルとユリのPRを希望される皆様は、ぜひ、お問い合わせください！

## ■ 山喜農園 農場公開／フラワートライアル もうすぐ始まります

株式会社 山喜農園のオープンデー（農場公開／フラワートライアル）の開催まであとすこし。6月中旬から7月中旬の1か月間、普及品種から開発途上の新品種まで約1000ロットのユリを開花した状態で見ることのできる貴重な機会です。農場では期間中、公開できる温室を自由に見学できるようにしています。

説明・案内などを希望される場合は事前に山喜農園までお問い合わせください。

○ 山喜農園 HP <http://www.yamaki-noen.co.jp/>



## ■ 7月4日（金） 「なにわ花まつり」に出展します

リリープロモーションジャパンは、7月4日（金）に行われる「なにわ花まつり」に参加いたします。

昨年2月にもリリーエンジェル2名とともに参加しブース出展しました（画像）。

今回は、「YOUR LILY」をテーマとしたユリのCASTLE（塔）を設営する予定です。そして、今年はどのリリーエンジェルが登場するのでしょうか？？お楽しみに！お盆前の情報収集にも絶好の機会です。ぜひ、足を運んでください！

日時： 2014年7月4日（金）午前6時～午後2時予定

場所： 市場内1階Cゾーンです。

昨年出展の様子

<http://www.lily-promotion.jp/program/005.html>



## ■ 「アムステルダム オープンガーデン・デー」6月20日の週末3日間開催



アムステルダムで25か所もの庭園を一斉に公開するイベント「オープンガーデン・デー」が行われます。期日は6月20日（金）から22日（日）の3日間。2014年のテーマは「実用性と楽しさ」。かつて17世紀ごろにつくられた庭は野菜やハーブを育てるための実用的なものでしたが、のちに装飾的な植物や花がたくさん育てられその家の富を示すステータスシンボルになっていきます。近年では、運河沿いのガーデンでもフルーツやハーブ、野菜を育てる菜園が見られるようになってきていて、庭は再び実用性が求められるようになってきたのかもしれません。今回のイベントでは、そんな最新の庭のトレンドを含めて歴史ある庭など注目すべき庭を一気に訪ねられるように計画されています。いずれも徒歩か自転車で行けます。予約は不要。チケットはヴァンルーン博物館で購入できます。庭の公開時間は午前10時から午後5時までです。

HP : <http://opentuinendagen.nl/>



- アイバルブ・ジャパン・ニュースレター2014年5／6月号（第014号） 発行：アイバルブ・ジャパン
- HP : [www.ibulbjapan.jp](http://www.ibulbjapan.jp) メールアドレス : [ibulb@aurorajp.com](mailto:ibulb@aurorajp.com)